

| | | | | | | |
|------|---|--------------|--------------------|------|----|------------|
| 教科名 | 保健体育 | 科目名 | 体 育 | 履修学年 | 高校 | 2 年 男子 全 組 |
| 単位数 | 2 単位 | 使用教科書 教材等 | MY SPORTS総合版 (大修館) | | | |
| 担当者 | 佐藤・松岡・松本・福嶋・齊藤 | | | | | |
| 学習目標 | 各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め、体力の向上と健康の増進を図るとともに、公正、協力、責任などの社会的態度を育て、生涯を通じて、自主的・自発的に、そして継続的に行うことができる能力と態度を身につける。 | | | | | |
| 学習内容 | 1 学期・・・バレーボール 2 学期・・・陸上競技 (走り高跳び・走り幅跳び) 3 学期・・・サッカー | | | | | |
| 備 考 | 評価については、記録および実技80%・平常点 (学習意欲、授業態度など) 20%で学期ごとに評価する。 | | | | | |

授業計画

| 学期 | 月 | 学習内容・単元等 |
|------|------|---|
| 1 学期 | 4 月 | スポーツテスト 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、ハンドボール投げ |
| | 5 月 | バレーボール ①パス (オーバーハンド・アンダーハンド) ②レシーブ ③トス ④スパイク ⑤ブロック ⑥サーブ (アンダーハンド・フローター) ⑦ルールの説明 ⑧ゲーム |
| | 6 月 | 実技評価：アンダーハンド・オーバーハンドパス、ゲームによる評価 |
| | 7 月 | |
| | 8 月 | |
| 2 学期 | 9 月 | 陸上 走り高跳び (ベリーロール・はさみ跳び・背面跳び) ①助走の技術 ②踏み切り ③空中姿勢 ④着地 ⑤記録 |
| | 10 月 | 走り幅跳び ①基本練習 (助走・踏み切り・着地) ②記録 障害走 (80mハードル) ①フォーム ②記録 実技評価：ベリーロールフォーム 及び 記録 による評価 |
| | 11 月 | |
| | 12 月 | |
| 3 学期 | 1 月 | サッカー ①パス (インステップ・インサイド・インフロントキック) ②ドリブル (インサイド、アウトサイド) ③リフティング (腿、足の甲) ④ヘディング ⑤トラッピング (胸、腿、足) ⑥シュート ⑦ゲーム |
| | 2 月 | 実技評価：ボールコントロール 及び シュート による評価 |
| | 3 月 | |

| | | | | | | | |
|------|--|--------------|--------------------|------|---------------|----|------|
| 教科名 | 保健体育 | 科目名 | 体育 | 履修学年 | 中学・ 高校 | 2年 | 女子全組 |
| 単位数 | 2単位 | 使用教科書 教材等 | MY SPORTS 総合版(大修館) | | | | |
| 担当者 | 福嶋葉子・月見淳美 | | | | | | |
| 学習目標 | 各種の運動を行い、各個人の能力に応じた体力の向上を促し、心身の健全発達を図る。運動技能を高めると共に、運動を通して、生活を健全に明るく豊かにする能力や態度、競争や協同の経験を通して、公正・協力・責任などの態度を養い、社会生活における望ましい行動の仕方を身に付けさせる。 | | | | | | |
| 学習内容 | はじめに体力測定を行い、自分の体力に何が不足しているのかを確認する。種目は陸上競技・バレーボール・ダンス・バドミントンを行う。各学期にそれぞれの練習を少しずつしていく。基本を身に付けてから応用、ゲームを行う。 | | | | | | |
| 授業方法 | 基本・応用練習を個人やグループで行い、ゲームに生かしていく。各種目、実技試験を行う。 | | | | | | |
| 評価方法 | 実技試験と平常点(出欠席、見学、授業態度)によって評価する。 | | | | | | |

授業計画

| 学期 | 月 | 学習内容・単元等 | 区分 1 評価 | 区分 2 評価 |
|---------|------------------|---|--|------------|
| 1 学期 | 4 月 | スポーツテスト 体づくり運動 陸上競技 | 1 学期 期末 考査 | |
| | 5 月 | ・走り高跳び(ベリールール・はさみ跳び) ①助走の技術 ②踏み切り ③空中姿勢 ④着地 ⑤記録 体育祭練習 | | |
| | 6 月 | ・ハードル走 ①スタート ②フォーム(振り上げ足、抜き足) ③記録 ・走り幅跳び ①助走の技術 ②踏み切り ③空中姿勢 ④着地 ⑤記録 *実技試験 | | |
| | 7 月 8 月 | バレーボール ・パス(アンダーハンド・オーバーハンド)、サーブ *実技試験 | | |
| 2 学期 | 9 月 | バレーボール ・スパイク | 2 学期 中間 考査 2 学期 期末 考査 | |
| | 10 月 | ・サーブ(アンダーハンド・フローター) ・ゲーム *実技試験 | | |
| | 11 月 | バドミントン ・サーブ *実技試験 | | |
| | 12 月 | | | |
| 3 学期 | 1 月 | ダンス ・波の表現 *実技試験 | 学 年 末 考 査 | |
| | 2 月 | バドミントン ・サーブ ・ストローク(クリア・ドロップ) | | |
| | 3 月 | ・ゲーム形式の練習 *実技試験 | | |

| 教科名 | 保健体育 | 科目名 | 体育 | 履修学年 | 中学・ 高校 | 2年 全組 | | |
|---------|---|--|------------------------|------|---------------|-------|-----------------------------|-----------------------------|
| 単位数 | 1単位 | 使用教科書 教材等 | ステップアップ高校スポーツ2020（大修館） | | | | | |
| 担当者 | 佐藤寿紀・松本萌 | | | | | | | |
| 学習目標 | 各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。 | | | | | | | |
| 学習内容 | 一学期については球技（テニス）、二学期については球技（ハンドボール・卓球）、三学期については球技（卓球）について学習する。 | | | | | | | |
| 授業方法 | 各種運動の実技を中心に授業を行う。また、各種目の学習の最後に実技テストを行う。 | | | | | | | |
| 評価方法 | 実技テストの結果、平常点（出欠見学状況・授業態度等）によって評価する。 | | | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | | |
| 学期 | 月 | 学習内容・単元等 | | | | | 区分 評価 1 | 区分 評価 2 |
| 1 学期 | 5月 | ☆球技☆ ・テニス ①ボールコントロール・ラケット操作 | | | | | 1 学期 期 末 考 査 | |
| | 6月 | ②ネットプレー（ポーチ・ボレー） ③サーブ ④グラウンドストローク（バック・フォア） | | | | | | |
| | 7月 | ⑤実技テスト ⑥簡易ゲーム ⑦ダブルスのポジションと役割 ⑧ダブルスゲーム （雨天時 卓球） | | | | | | |
| | 8月 | ☆球技☆ | | | | | | |
| 2 学期 | 9月 | ・ハンドボール | | | | | 2 学期 中 間 考 査 | 2 学期 期 末 考 査 |
| | 10月 | ①パス・キャッチ・ルール説明 ②シュート ③簡易ゲーム | | | | | | |
| | 11月 | ④実技テスト ・卓球 | | | | | | |
| | 12月 | ①ボールコントロール・ラケット操作 ②ストローク（バック・フォア） ③サーブ | | | | | | |
| 3 学期 | 1月 | ☆球技☆ ・卓球 | | | | | 学 年 末 考 査 | |
| | 2月 | ④シングルスゲーム（リーグ戦） ⑤実技テスト ⑥ダブルスゲーム | | | | | | |
| | 3月 | | | | | | | |

| 教科名 | 保健体育 | 科目名 | 保 健 | 履修学年 | 中学 ・ 高校 | 2 年 全 組 |
|---------|--|--|----------------------|------|------------------------|------------|
| 単位数 | 1単位 | 使用教科書 教材等 | 大修館書店「現代高等保健体育」保体304 | | | |
| 担当者 | 深谷哲弘・宮本章吾 | | | | | |
| 学習目標 | 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。 | | | | | |
| 学習内容 | 1年次同様、我が国の疾病構造や社会の変化に対応して、健康を保持増進するためには、ヘルスプロモーションの考え方を生かし、人々が適切な生活行動を選択し実践すること及び環境を改善していく努力が重要であることを理解できるようにする。また、生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があること及び我が国の保健・医療制度や期間を適切に活用することが重要であることを理解させる。 | | | | | |
| 授業方法 | 講義形式による授業を中心とする。内容によってはグループワークなどの話し合いや発表の場を設けることもある。 | | | | | |
| 評価方法 | 評価については、定期考査及び平常点（学習カード・授業態度・課題提出など）で学期ごとに評価する。 1・2学期末の評価が3点以下の場合、再試験を実施する予定。 | | | | | |
| 授業計画 | | | | | | |
| 学期 | 月 | 学習内容・単元等 | | | 区分 1 評価 | 区分 2 評価 |
| 1 学期 | 4 月 | 19交通事故の現状と要因 20交通社会における運転者の資質と責任 21安全な交通社会づくり | | | 1 学期 末 考 査 | |
| | 5 月 | 22応急手当の意義とその基本 23心肺蘇生法 24日常的な応急手当 | | | | |
| | 6 月 | 第2章 障害を通じる健康 1思春期と健康 2性意識と性行動の選択 期末考査試験 | | | | |
| | 7 月 | 4妊娠・出産と健康 5家族計画と人工妊娠中絶 | | | | |
| 2 学期 | 9 月 | 6加齢と健康 7高齢者のための社会的取り組み 8保健制度とその活用 9医療制度とその活用 | | | 2 学期 末 考 査 | |
| | 10 月 | 10医薬品と健康 11さまざまな保健活動や対策 第3章 社会生活と健康 1大気汚染と健康 | | | | |
| | 11 月 | 2水質汚濁・土壌汚染と健康 3健康被害の帽子と環境対策 4環境衛生活動のしくみと働き 5食品衛生活動のしくみと働き | | | | |
| | 12 月 | 期末考査試験 6食品と環境の保健と私たち 7働くことと健康 | | | | |
| 3 学期 | 1 月 | 8労働災害と健康 9健康的な職業生活 履修した分野についての追加学習① | | | 学 年 末 考 査 | |
| | 2 月 | 履修した分野についての追加学習② 履修した分野についての追加学習③ 学年末考査 | | | | |
| | 3 月 | 発表活動 | | | | |